

# 情報教育の実践

守谷市立大野小学校

## 1 情報スキルに関する取組

今年度は、1～3年生が主にコンピュータ室のコンピュータを使い、4～6年生が主にタブレットPCを使って、各学年に応じたスキルアップを図った。タブレットPCの特性である携帯性を活かし、コンピュータ教室内での学習活動ではなく、普通教室や屋外での調べ学習やレポート活動など、情報スキルの幅は大きく広がった。



6年生 タブレットを使った調べ学習（社会科）

## 2 情報モラルに関する取組

スマートフォンやタブレットPC等の携帯端末を手にする機会が増えていく高学年を対象に、それぞれ情報モラルに関する出前授業を依頼し開催した。依頼先は、茨城県知事公室女性青少年課、マルチメディア振興センター



保護者向け 情報モラル教室（PTA授業参観日）

## 3 保護者とともに取り組む情報教育

保護者、教職員を対象として、「判断力の不十分な子どもが、ネットの被害者・加害者にならないためにはどうしたらいいか」というテーマで「情報モラル教室」を開催した。県の情報モラル指導員から、ケータイ依存・ネットいじめ・ネット誘引・ネット詐欺の実態・その対処方法等についての講座を受けた。



3年生 タブレットを使った漢字練習（朝自習）

## 4 成果と課題

### （1）成果

インターネットを通して得た情報を取捨選択したり、児童相互の学び合いで得た他者の考えを取り入れたり、情報を課題や目的に応じて収集・判断・表現・処理しやすいところがICT機器を活用する特性である。その特性は、児童にパソコンやタブレットPCなどの操作スキルが身に付いていないと活かしきれない。本年度もICT機器を低学年のうちから積極的に活用し、児童にとって身近な情報ツールにしていくことができた。



5年生 タブレットを使ったレポート作り（総合的な学習の時間）

### （2）課題

情報手段に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具を有効・適切に活用する実践を重ねてきているが、教師はそれぞれの情報手段の操作に習熟するだけでなく、それぞれの情報手段の特性を理解し、指導の効果を高める方法について研修を重ねていくことが求められる。今後とも、校内研修と実践を通して、情報教育の指導力の向上を図っていきたい。